



市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

休館日■黒い枠

2月 図書館カレンダー 1月15日現在						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 祝日開館	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 祝日開館	24	25	26	27	28

行事などの最新情報はこちらをチェック！

小樽図書館

検索



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

◇開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで

土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで

◇休館日

2月 曜 日 2日・9日・16日
館内整理休館日 27日（金）
※祝日（2／11 建国記念の日、2／23 天皇誕生日は開館いたします）

3月 曜 日 2日・9日・16日・23日・30日
館内整理休館日 27日（金）
※祝日（3／20 春分の日）は開館いたします

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 祝日開館	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

予約ベスト5

() の人数はR 8. 1. 15現在の予約人数です。

◎失	わ	れ	た	貌	(櫻田 智也)	(52 人)
◎架		空		犯	(東野 圭吾)	(43 人)
◎成瀬	は	都	を	駆け抜ける	(宮島 未奈)	(43 人)
◎マスカレード・				ライフ	(東野 圭吾)	(43 人)
◎暁				星	(湊 かなえ)	(41 人)

今月のおすすめ本

470. 4「英国王立園芸協会と
たのしむ植物のふしぎ」ガイ・バーター 著

書名の前の数字は分類番号です。



イタリア式、フランス式に並ぶ3大ガーデニング様式のひとつ「イギリス式庭園」。大英帝国時代に派遣されたプラントハンターが、支配下の国々に生息する植物などを本国に持ち帰ったことが起源で、その蓄積された資料の管理と庭園文化の普及のために設立された協会きってのカリスマ庭師が、原題(「HOW DO WARMS WORK?」)である「ミミズの役割」や「雑草とはどんな草?」「野菜と果物の違いは?」など、130の質問に簡潔ながらも伝統と経験に裏打ちされた確かな知識で回答しています。挿絵も精細で色鮮やか。一足早い春の訪れを感じてみては如何でしょうか。

(K・H)



「夢か・・・」の巻

ハート職人、今夜も夜なべ?

初夢はなんだったのか?考える直前まで覚えていたはず。なぜだろう。意識した途端、忘れている。しかしなぜか嫌なことは忘れない。クヨクヨする日々。しかも眠たくなった瞬間に思い出すのだ。安眠妨害半端ないのだ。夕食後、テレビを見ながらうつらうつらとしている家族の様子を見るととても羨ましい。あの状態が一番気持ち良いに違いないのだ。ああなることを夢見てしまうがこれからやらねばならない重要な任務がある。その前にちょっとだけ動画鑑賞で心を癒す。そんなことをしているうちに「うつら」一個分くらいの眠気が自分にも到来していた。ストーブの近くに座っている上に、今の時期は雪かき祭り。夜中も雪明かりを頼りに雪かき三昧。そんな毎日だから、満腹と肉体的疲労とで眠気がやってくるのは当然。このまま眠りたい。いやだめだ。でも眠いのだ。「今夜は雪かきしなくて大丈夫だよ～」と聞こえた気がしたが空耳?ふと気が付けばかれこれ数時間が経過。知らぬ間に自分も舟をこいでいたようだ。「よっこいしょ」の掛け声でどうにか立ち上がり、茶の間の窓から恐る恐る外を眺めてみた。そして、ため息。ベランダの手すりには10センチ以上の雪。周辺住民は何もしていないようだ。雪かき用の服に着替えるしかない。ストーブ前に干していた手袋と長靴を持ち、一粒のチョコレートを口に放り込み、寒い玄関へ向かった。住民が減少した我が家周辺はやっぱり自分ががんばるしかない。近所ではまだまだ若輩なのだ。ママさんダンプ(スノーダンプとか言うらしい)を使って一気にがんばらなくてはならない。肘の痛みに耐えながらあっちこっちの雪を集めては出来るだけ遠くへ、かなり遠くへと放り投げるのだ。

小説類



「ブーズたち鳥たちわたしたち」

江國 香織 著

極上のクラムチャウダーを求めて、ロードアイランドを訪ねた恵理加。初めて両親の元を離れてキャンプに参加した誠也。自由で幸福で生命の輝きに満ちた連作。

「猿」

京極 夏彦 著

「猿がいる」と言い出した同居人。かすかに感じる、妙な気配。曾祖母の遺産相続。岡山県山中の限界集落。よく判らない違和感…。恐怖の本質に迫る長編小説。

「分裂蜂起」

佐々木 譲 著

日露戦争で敗戦した日本はロシア軍の駐屯を許していた。ロシアで過激派が蜂起し、臨時政府から政権を奪取。一方、警視庁の新藤は水死体の引き揚げ現場に遭遇し…。



「初雪」 柴田 よしき 著

警察官を辞め、探偵の手伝いをするようになった麻生龍太郎。温泉芸者として流転の生活を送っているという元妻を捜し、新潟の山間の温泉町にやって来た。直後、不可解な事件が…。

「武家女人記」

砂原 浩太郎 著

娘として、母として、妻として、そしてひとりの女性として。江戸時代、さまざまな身の上を生きる武家の女人たちをあざやかな筆致で描く時代小説集。

「うらぎり長屋」

高瀬 乃一 著

怠け者の母親を内職で支える娘、盗みに手を染めた元大工、男を待ち続ける女…。どん底を生き抜く人々の哀感と優しさを描いた、江戸・本所の貧乏長屋が舞台の連作短篇。

「晴れの日の木馬たち」

原田 マハ 著

倉敷紡績で働く少女すてらは、雑誌「白樺」でゴッホの絵を見て心打たれ、「ゴッホが絵を描いたように小説を書く」と自身の道を定める。岡山を去ることになったすてらは、東京へと向かい…。

「ここにいるよ」

真山 仁 著

2024年元日、巨大地震が能登半島を襲った。阪神・淡路大震災で家族を失い、東日本大震災で被災地の子どもたちを励ましてきた元教師・小野寺は、再び被災地で子どもたちと向き合い…。

「雀ちよつちよ」

村木 嵐 著

瞬く間にスターダムに上りつめた大田南畝は、江戸の狂歌を牽引する存在になるが、松平定信の台頭により出版界に粛清の嵐が吹き荒れる。一方、長男・定吉には狂気の萌芽が見え…。



随筆



「長い読書」

島田 潤一郎 著

本を読み続けることでなにを得られるのか。吉祥寺のひとり出版社「夏葉社」を創業した著者が、これまでの読書体験、その忘れられない時間をありのままに語る。読んだ後にもっと読書が好きになる無二の随筆集。



「ミシンは触らないの」 中前 結花 著

出会ったばかりの人にもらったラブレター、母の涙とともにかけられた言葉で思い出す後悔、できないことばかりで苦しんだときに光をくれた友人の言葉とは…。

その他

書名の前の数字は分類番号です。



929.1 「そつと呼ぶ名前」

イム・キョンソン 著

年上の彼との関係に悩む30代のスジンは、年下の男性からの情熱的なアプローチに惹かれていく。幸福感に満たされながらも、ふと感じる不安や虚無感。そんな時、心の奥から浮かんでくる名前とは…。

933.7 「赤く染まる木々」

パーシヴァル・エヴェレット 著

白人男性の変死体のそばには、半世紀以上前に殺された黒人の少年エメット・ティルに酷似した「第二の死体」があった。やがて同様の事件が全米を覆いつくし…。アメリカが葬った黒人リンチの過去に挑むミステリ。

新着一般書

書名の前の数字は分類番号です。

019. 9「絶望はしてません」

斎藤 美奈子 著

2020年代前半、いったい何が起こっていたのか。コロナ禍、安倍元首相銃撃事件から露呈した社会の歪みとは。毎月テーマを決め、本を3冊読んで考え続けた、46の同時代批評。『ちくま』連載に加筆訂正。



159. 4「勝負眼」

藤田 晋 著

「押し引き」が勝敗の9割を決める麻雀。ビジネスの世界にも通じるものがある。サイバーエージェントを創業し、8000億円企業にした著者が、経営者としての想いや心構え、様々な手法を伝える。『週刊文春』連載に加筆修正。

291. 0「仕事を頑張る人の温泉術」

永井 千晴 著

おこもり・日帰り・出張ついで…。温泉オタクの会社員が、“とにかくここに行けば間違いなし！”の温泉を紹介する。ぴったり温泉診断チャート、おまかせ旅、東京発の温泉旅行、時期と宿の選び方&宿での過ごし方なども掲載。

302. 2「シリアの家族」

小松 由佳 著

シリアの沙漠で出会った総勢70人の大家族。シリア難民の妻、そして二児の母となった写真家が、激動のシリアを生きた市井の人々の等身大の姿を描くノンフィクション。

『kotoba』連載を大幅に加筆修正・再構成。



417. 1「確率ピクト図鑑」堀口 智之 著
クラスの中に同じ誕生日の人がいる確率は？年末ジャンボ宝くじで1等が当たる確率は？かわいいピクトグラムと感覚的なスケールで、「実際それがどれくらい起こりそうか」を可視化して紹介する。

537. 9「終のクルマ選び」

温水 ひろし 著



人生最後の1台に、どんなクルマを選びますか？昭和40年生まれで4台のクルマを所有する元SUBARU開発者が、「スポーツカー」「SUV」「軽自動車」など、クルマのジャンル別に終のクルマ選びを紹介する。

596「シンプル塩味のおいしいレシピ」

上田 淳子 著

味の決め手は塩！肉・魚料理、野菜炒め、生野菜サラダ、浅漬け、炊き込みご飯、汁物などのレシピと、食材別・調理法別の塩の量とふり方、タイミングをわかりやすく紹介。



702. 1「イノリノカタチ」

彬子女王 著



イノリノカタチを知ること、人々の心の源流を辿る旅でもある。三笠宮妃殿下との思い出、輪島の漆、五島列島に息づく信仰の力…。彬子女王殿下ならではの視点で人々の祈りの姿を綴った随筆集。『和楽』ほか掲載を書籍化。

786. 1「凧の人 山野井妙子」

柏 澄子 著

国内外の難壁を次々に登攀していった山野井妙子。夫の泰史と出会い、ふたりで過酷な山に挑む。穏やかで動じない「凧」のような心のありようと、その人生の軌跡を浮き彫りにする。

『山と溪谷』連載に加筆・修正。



910. 2「父、正史 母、孝子」

野本 瑠美 著



「犬神家の一族」「八つ墓村」「獄門島」「人形佐七捕物帳」…。膨大な名作を残した“探偵小説一代男”横溝正史の生涯と、妻の温かな献身。末娘がとっておきのエピソードを鮮やかに語る。

児童資料

「超チョウ図鑑」

tupera tupe 著
オモシロチョウ、ゼッコウチョウ、バンノウボウチョウ、カカリチョウ、エキチョウ…。近年発見された、これまでの常識をくつがえす“超チョウ”全84種を分類し、その生態を紹介します。本を開くとチョウの形をしています。

「知ったかぶりをした日から」

かさい まり 著
東京から、北海道の湖のある小さな町に転校してきた小学4年生の風子は、早く友だちを作りたいくて、つい知ったかぶりをしてしまう。その一言が、大変なことになって…。

「シマエナガのちるとぴるる」

もとした いづみ 著
小さなからだに、まんまる顔のシマエナガは、かわいくてたくましい森の妖精。去年生まれた「ちる」と「ぴるる」は、初めての冬を迎えて…。北の森でくりひろげられる、動物たちの小さなお話。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①2月7日 ②2月21日

③3月7日 ④3月21日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー

②④図書館2館 視聴覚室

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」
「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作。

協力：たるBOOKの皆さん

②「ふわふわけいとであそぼう！」

毛糸を使った簡単な手芸とおはなし会。

④「たるばとおたのしみ会！」

「たるばとクラブ」開始8年を記念したおはなし会や工作など。



「乳幼児向けおはなし会 たるぴよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

2月6日、13日、20日

3月6日、13日、20日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

「ぐうちよきばあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきばあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 2月11日（水・祝） 3月11日（水）

午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

郷土資料

書名の前の数字は分類番号です。



H319. 1「わたしの百人の祖父母たち」

山田 淳子 著

私は祖父のことを知らない。北方領土元島民3世の著者による写真ルポルタージュ。島の学校に通い、昆布を干し、旧ソ連兵の侵攻に翻弄された、元島民100人の幼少期の記憶を紹介。



H557. 8「青函連絡船洞爺丸転覆の謎」

田中 正吾 著

荒れ狂う台風の中で5隻の青函連絡船と1430名の命が函館の海に消えた、日本海難史上最悪の惨事「洞爺丸事件」はなぜ起きたのか。この惨事から何を学ぶべきか。洞爺丸事件を風化させないための一冊。

H748「或る日のタンチョウ」

梨木 寛 著

厳しい北海道の地で生きている、特別天然記念物のタンチョウ。給餌場での親子の姿、流氷の季節、原生花園に訪れる短い夏…。鳴く、舞う、飛ぶ、すべての動作が美しいタンチョウの四季折々の姿を収録した写真集。

おたる図書館シネマ座、ミュージックプロムナードは、機材の故障により当面の間、中止いたします。復旧まで今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

「歌舞伎の世界」

【日 時】2月20日(金)～2月28日(土)

【内 容】昨年は映画「国宝」でも話題となった日本の伝統芸能、歌舞伎。また、2月20日は歌舞伎の日でもあります。これにちなんで、歌舞伎に関する本を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前



「気になる展」

【日 時】3月3日(火)～3月10日(火)

【内 容】小説、実用書問わず、タイトルが気になる、面白い本を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前



「キャワキャワかわちい ～キャラクター編」

【日 時】3月13日(金)～3月26日(木)

【内 容】かわちい(かわいい)キャラクターが出ている本、写真集、編みぐるみなどの手芸に関する本を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前



「スイーツ特集」

【日 時】2月1日(日)～2月14日(土)

【内 容】2月14日はバレンタインデー。その由来は、ローマ皇帝の迫害下で恋人たちの結婚を秘密裏に執り行った、聖バレンタインが殉教した日とされています。これにちなんで、お菓子に関する本を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前



「絵葉書でふりかえる小樽・北海道 ～小樽図書館デジタルライブラリー より～」

【日 時】2月22日(日)～3月17日(火)

【内 容】令和7年度に小樽図書館ホームページで新たに公開された「デジタルライブラリー」の資料(絵葉書)、パネルを展示

【場 所】図書館1階 エントランス

「絵葉書でふりかえる小樽・北海道 ～小樽図書館デジタルライブラリーより～」

【郷土史講演会】

【日 時】3月15日(日) 午後2時～3時

【講 師】渡辺 眞吾 氏(フリーライター)

【内 容】小樽図書館ホームページ内のデジタルライブラリーにアップした、当館所蔵の絵葉書について解説。

【対 象】高校生以上

【定 員】30名(先着)

【場 所】図書館2階 視聴覚室

【申込み】3月3日(火)から図書館へ

